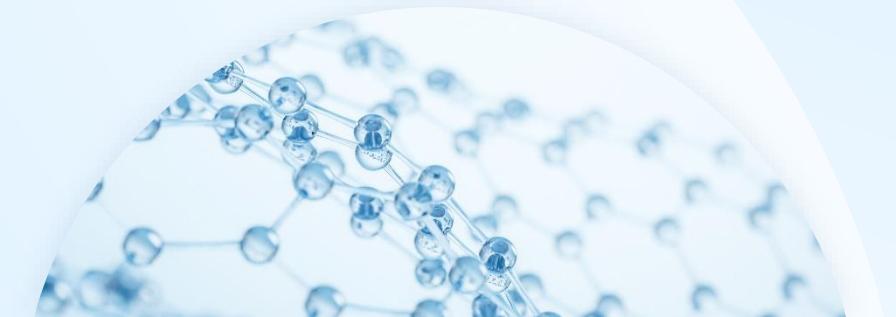


# 東レグループの価値創造と社会への貢献

2025年12月



# — 身の周りにある“東レ”

## トレビーノ®



アンダーシンク型 高除去タイプ  
トレビーノ® ブランチ

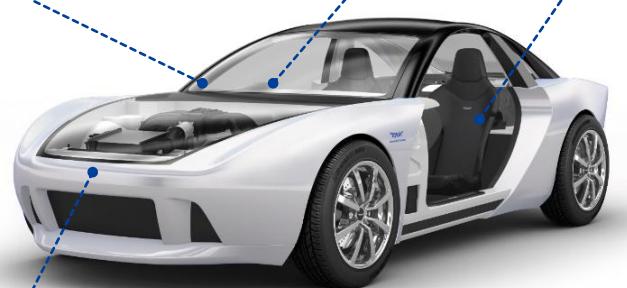
## 東レ素材の使用例



エアバッグ

タッチパネル

カーシート



カーボンフレーム



xEVインバーター  
xEVコンデンサ



提供JCF/東レ・カーボンマジック  
Photo:Shutaro MOCHIZUKI

## サマーシールド® (晴雨兼用傘)



## リサイクル繊維 & +®



# — 身の周りにある“東レ”



東レ パンパシフィックオープンテニス [↗](#)

アイコンのご説明

[↗](#) をクリックいただくと、関連するホームページに遷移します

[▶](#) をクリックいただくと、関連する動画を視聴いただけます



米国のプロピックルボールリーグと  
スポンサー契約を締結 [↗](#)



サニブラウン・アブデル・ハキーム選手と4年間  
のグローバルパートナーシップ契約を締結 [↗](#)



東レアローズ(バレーボール) [↗](#)



トレファーム®(砂栽培農業施設)

# — 社会貢献活動



理科・環境教育支援(出張授業)



生物学オリンピック支援



青空ナレッジ教室



環境保全・清掃活動



理工チャレンジ(リコチャレ)イベント



基礎科学の振興・助成

|                 |    |
|-----------------|----|
| 1. 東レグループの概要    | 6  |
| 2. セグメント紹介      | 10 |
| 3. 東レグループの中長期戦略 | 26 |
| 4. 業績推移         | 31 |
| 5. 参考情報         | 37 |

1

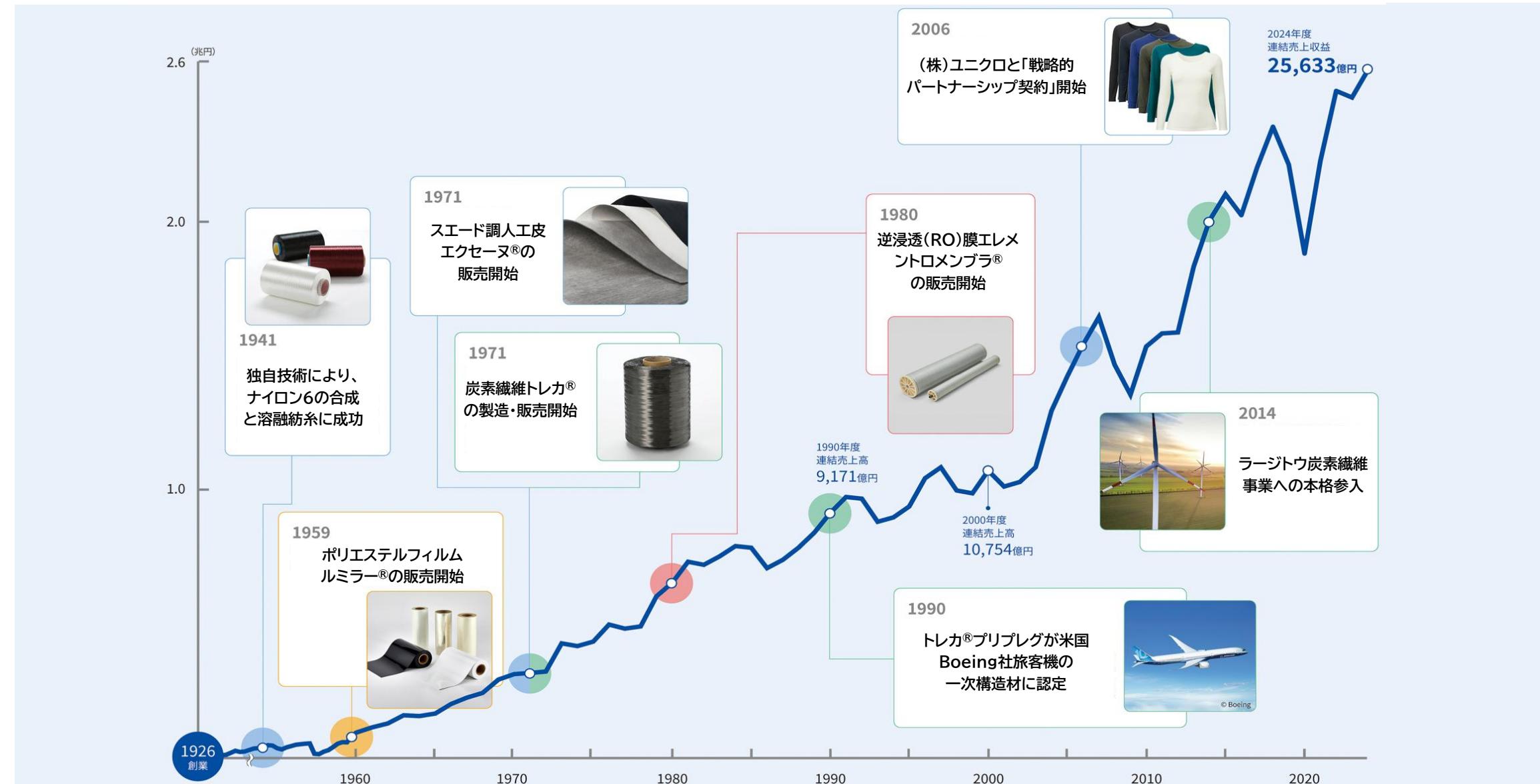
# 東レグループの概要

|       |                       |         |
|-------|-----------------------|---------|
| 会社名   | 東レ株式会社                |         |
| 設立    | 1926年1月               |         |
| 資本金   | 1,478億円               |         |
| 売上収益  | 2兆5,633億円 (2025年3月期)  |         |
| 関係会社数 | 308社 (国内 113社、海外195社) |         |
| 従業員数  | 東レ                    | 7,010人  |
|       | 国内関係会社                | 10,452人 |
|       | 海外関係会社                | 30,452人 |
|       | 計                     | 47,914人 |

代表取締役社長  
大矢 光雄



# — 東レグループの事業変遷



# — 東レグループのセグメント・主な製品

(億円)

| セグメント   | 主な製品   | 2025年3月期<br>連結売上収益 |      | 2025年3月期<br>連結事業利益 | 前期比  |
|---|--|--------------------|------|--------------------|------|
|   |  |                    | 構成比率 |                    |      |
|  繊維          |    | 10,111             | 39%  | 642                | +95  |
|  機能化成品       |    | 9,449              | 37%  | 600                | +233 |
|  炭素繊維複合材料    |    | 3,000              | 12%  | 225                | +93  |
|  環境・エンジニアリング |    | 2,365              | 9%   | 259                | +27  |
|  ライフサイエンス  |  | 532                | 2%   | ▲ 8                | +6   |
| その他   |  | 177                |      | 24                 | -9   |
| 調整額   |  | -                  |      | ▲ 315              | -44  |
| 合計  |  | 25,633             |      | 1,428              | +401 |

2

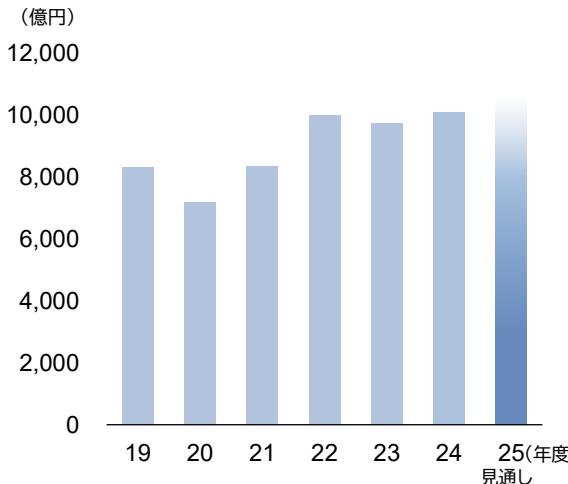
## セグメント紹介

# — 織維セグメント

## 2024年度売上収益



## 売上収益推移



- ・3大合成織維(ナイロン、ポリエスチル、アクリル)を含む様々な糸を展開
- ・糸だけでなく、テキスタイル、縫製品までのサプライチェーン一貫型事業を展開
- ・エアバッグ用基布事業や不織布事業など産業用途にも展開
- ・中国・東南アジア等におけるグローバルオペレーションを確立

## 主な製品・事業



- ・ナイロン織維
- ・ポリエスチル織維
- ・アクリル織維、他



テキスタイル



縫製品



エアバッグ用原糸・基布



人工皮革



衛生材料用不織布

# — 繊維事業の強み

- コア技術(高分子化学)に立脚した長期スパンでの素材の蓄積
- 素材力をベースに生地、縫製の多様な組合せによる価値の増幅

## 多様なポリマー

- Ny6、Ny66
- PET、PBT、3GT
- リサイクル
- バイオマス…

## 製糸・糸加工

- ハイカウント
- 混織
- シック&シン
- 摶糸…

## 高次加工

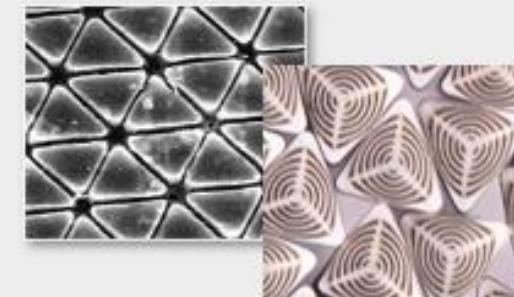
- 織・編
- 染色
- 減量
- 撥水・防水…

## 革新的な複合紡糸技術 NANODESIGN ®

「ナノスケール」の世界で  
繊維断面の形を自由に  
コントロールすることで  
今までにない機能や  
風合い等を可能に



NANODESIGN  
TECHNOLOGY



## 撥水ストレッチテキスタイル DEWEIGHT ®

PFAS(フッ素化合物)を使わず撥水性を備えた新素材



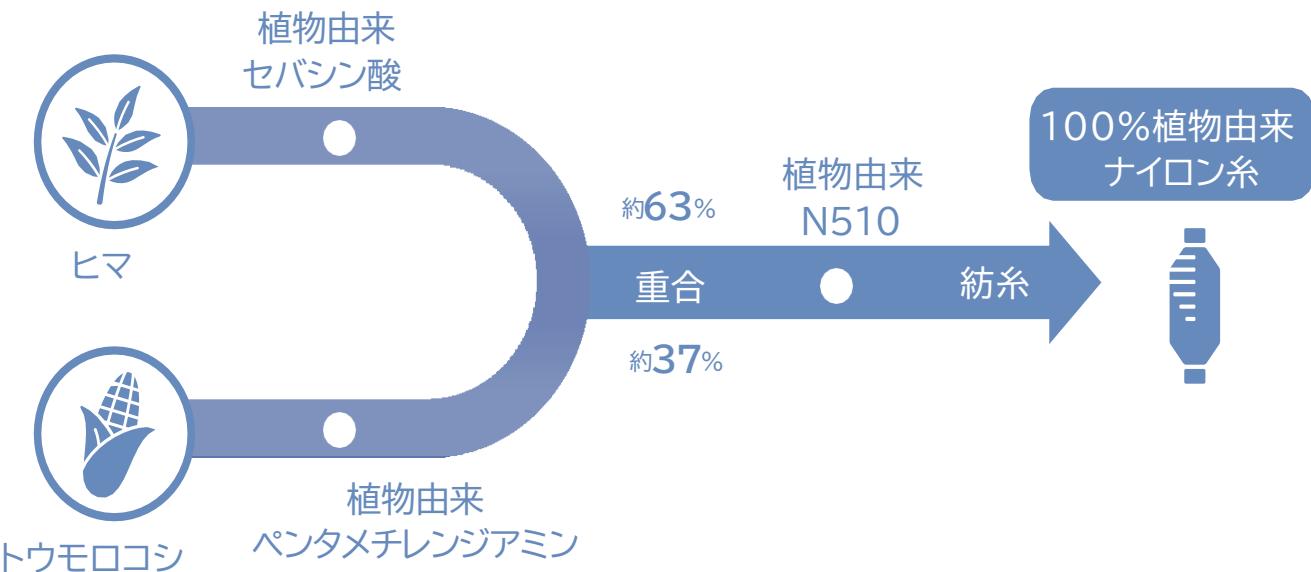
テキスタイル外観



# — 環境配慮製品の開発による価値創造

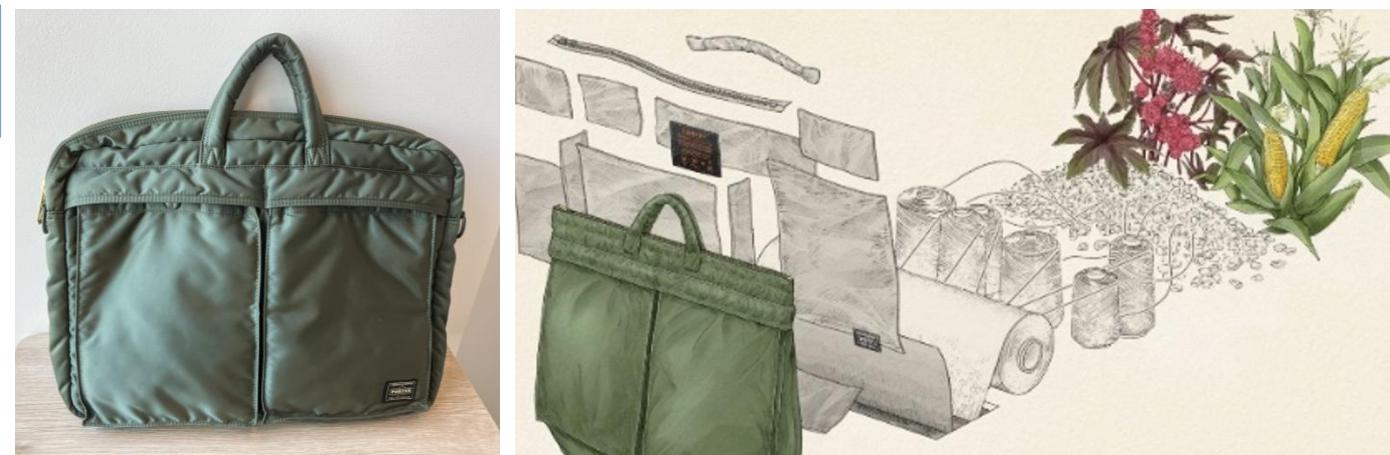
## 植物由来「エコディア® N510」

- 「トウモロコシ」と「ヒマ」を原料として作られた100%植物由来のナイロン系
- 従来の石油由来のナイロンと同等の耐久・耐熱性や染色性



## 顧客との新たなマーケットの創出事例 (吉田カバン(株式会社吉田))

- 100%植物由来ナイロンを使用
- 量産化を実現
- 共同プロモーションによる消費者への訴求



## — 吉田カバン・100%植物由来ナイロンの採用(動画)

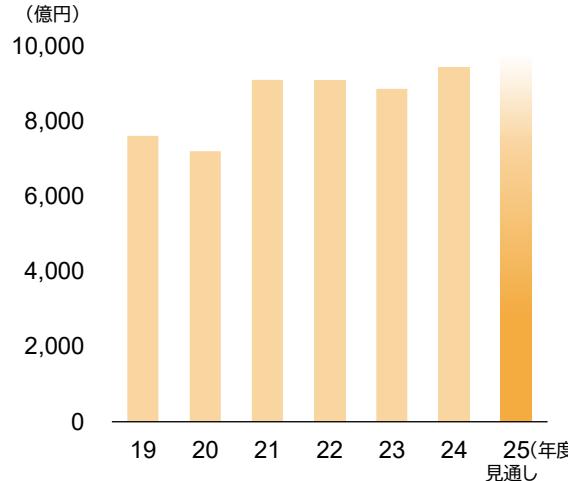


# — 機能化成品セグメント

## 2024年度売上収益



## 売上収益推移



- 樹脂・ケミカル、フィルム、電子情報材料の各事業を展開
- 自動車向け樹脂、MLCC\*離型用PETフィルム、有機EL関連材料などの製品を含む

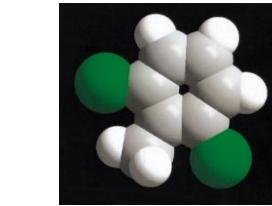
\*積層セラミックコンデンサ

## 主な製品・事業

### 樹脂・ケミカル事業



- ABS樹脂
- ナイロン樹脂
- PBT樹脂
- PPS樹脂 等



- ケミカル製品
- 動物薬

### フィルム事業



- ポリエステルフィルム

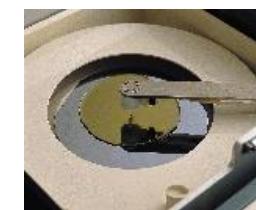


- ポリプロピレンフィルム
- PPSフィルム
- アラミドフィルム
- バッテリーセパレータフィルム 等

### 電子情報材料事業



- 有機EL関連材料
- 回路材料



半導体関連材料

# 樹脂事業

様々な用途に対応可能なラインナップやグローバルな事業展開を活かし、成長領域(次世代自動車、5G等)での事業拡大を推進

## 東レグループの強み

## 用途

### ABS樹脂

- 世界2拠点(日本・マレーシア)で生産
- 高機能な透明ABS樹脂世界シェアは約4割
- 透明、耐熱、耐薬品性等の機能を付与した高機能ABS樹脂  
市場の世界需要は年率5%\*で成長

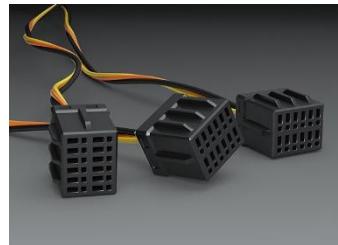
シェアNo.1



家電、雑貨、自動車など

### エンジニアリング プラスチック

- ナイロン、PBT、PPS、LCP樹脂などの幅広いラインナップ
- 次世代自動車や、低誘電特性が必要な5Gなど、成長領域での事業拡大を推進
- ユーザー立地を基本に消費地で生産、グローバルに生販技  
拠点を設置



自動車、電子部品など

\*当社推定

# — フィルム事業

長年培ってきた技術力や、地産地消のグローバルな生産・供給体制を活かし、成長分野での高付加価値品拡大、新製品・新用途の開発・創出を目指す

|                            |
|----------------------------|
| PET<br>(ポリエスチル)<br>フィルム    |
| OPP<br>(延伸ポリプロピレン)<br>フィルム |

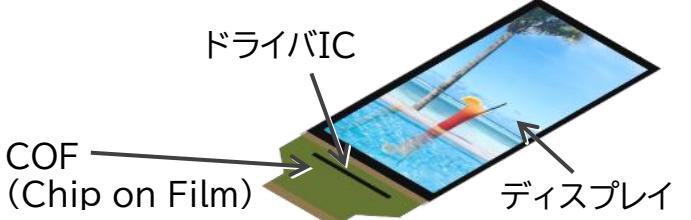
| 東レグループの強み   | 用途   |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>世界6極拠点、生産能力約40万t/年</li> <li>情報通信、産業全般、包装材など幅広い用途に展開</li> <li>市場の拡大が期待できるMLCC*離型用フィルムにおいてシェア50%以上を有する</li> </ul> <div style="background-color: #f4a460; border-radius: 50%; padding: 5px; display: inline-block; width: 100px; height: 100px; text-align: center; line-height: 100px; font-size: 10px; color: white;">シェアNo.1</div> |  <p>ディスプレイ、MLCC*離型用途 など</p>   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>高品質な薄膜フィルムを安定的に大量に生産</li> </ul>  |  <p>一般工業用途、xEVコンデンサ用途 など</p> |

\*積層セラミックコンデンサ

# — 電子情報材料事業

東レグループの高度なコア技術を活かし、顧客ニーズに適した高付加価値品を創出  
先端材料・プロセスの提案を通じてソリューションを提供することにより事業拡大を推進

| 有機EL関連材料   |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>有機ELディスプレイ分野に各種先端材料を幅広く展開</li> <li>有機ELディスプレイの需要は、モバイル用途、テレビ用途ともに拡大する見通し</li> <li>絶縁層はトップシェア</li> </ul> |

| 東レグループの強み   | 用途  |
|---|---|
| <p>シェアNo.1</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>有機ELディスプレイ分野に各種先端材料を幅広く展開</li> <li>有機ELディスプレイの需要は、モバイル用途、テレビ用途ともに拡大する見通し</li> <li>絶縁層はトップシェア</li> </ul> |  <p>有機ELディスプレイにおける<br/>絶縁層、有機発光材料など</p>      |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>最先端の微細化技術、世界初の両面基板製品化など、最先端材料を提供</li> <li>グループ内で完結したサプライチェーン、各社の先端技術を強みにシェアを維持・拡大</li> </ul>                           |  <p>ディスプレイのドライバICなどを<br/>実装するフレキシブル回路基板</p> |

# — 炭素繊維複合材料セグメント

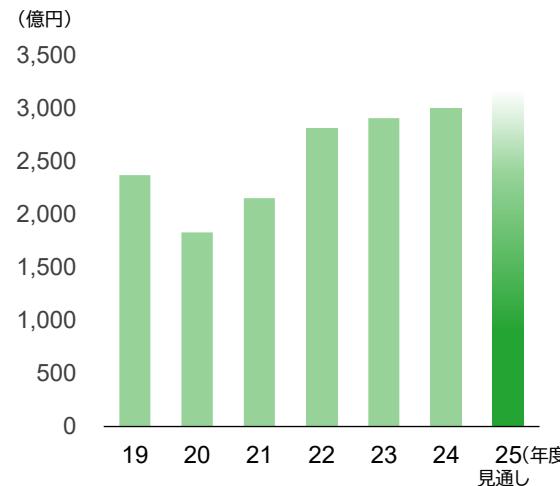
## 2024年度売上収益



### シェアNo.1

- 航空機用途をはじめとした高品質炭素繊維に加え、コスト競争力のある産業用途向け炭素繊維も含め、トップメーカーとしての地位を確保
- 炭素繊維だけでなく、プリプレグ（炭素繊維に樹脂を含漬させたシート）や織物、成形品まで、サプライチェーンの各段階でグローバルに事業を展開
- 航空宇宙、スポーツ、一般産業各用途に展開

## 売上収益推移



## 主な製品・事業



炭素繊維

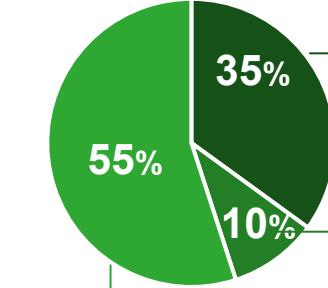


プリプレグ



成形品

## 2024年度売上収益(3,000億円)の内訳



### 一般産業用途

- 風力発電翼
- パソコン筐体
- 燃料電池電極基材
- 圧力容器
- 自動車部材 など



### 航空宇宙用途

- 航空機
- 人工衛星
- ロケット



ボーイング787

### スポーツ用途

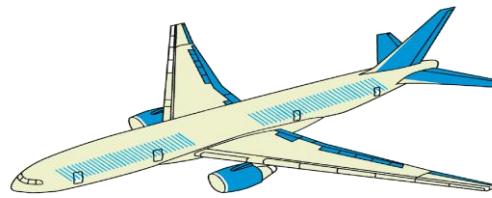
- 自転車
- ゴルフシャフト
- テニスラケット
- 釣り竿
- ホッカースティック



# — 炭素繊維の適用拡大による価値創造

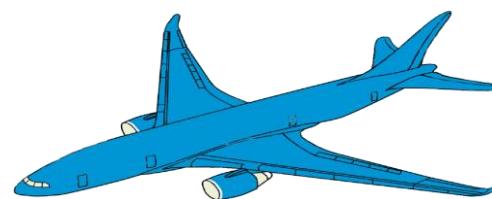
## 炭素繊維複合材料の適用拡大(ボーイング社の例)

777型機



一次構造材として適用

787型機



構造材の複合材化進展

※青色箇所が炭素繊維複合材料適用部位

## 航空機での炭素繊維複合材料 採用の効果

- ① 耐腐食性向上 ⇒ 機内湿度向上
- ② 高強度 ⇒ 機内気圧向上
- ③ 最適空力設計 ⇒ 静粛性向上
- ④ 高強度 ⇒ 窓大型化
- ⑤ 軽量化 ⇒ 燃費向上

GHG削減

温室効果ガス

### CORSIA(国際民間航空のためのカーボン・オフセット及び削減スキーム)

国際線を有する航空会社は、CO<sub>2</sub>排出量が基準を上回っている場合、その超過分に相当する排出枠を購入しなければならない



2027年～義務化開始

# — 炭素繊維複合材料事業 拡大が見込まれる主な用途

## 民間航空機・次世代航空機

- ▶ボーイング社の生産機数の上昇



©The Boeing Company

## 圧力容器

- ▶圧縮天然ガスタンクは車両向け需要が増加
- ▶水素タンクは車両・鉄道等への採用が拡大



©トヨタ自動車(株)

## ガス拡散層基材



上：トレカ®カーボンペーパー  
下：ガス拡散層

## 空飛ぶクルマ(UAM)



©Joby Aviation, Inc.

## 洋上風力発電

- ▶風力発電翼(ブレード)の大型化による炭素繊維比率の上昇



## 宇宙(ロケット)



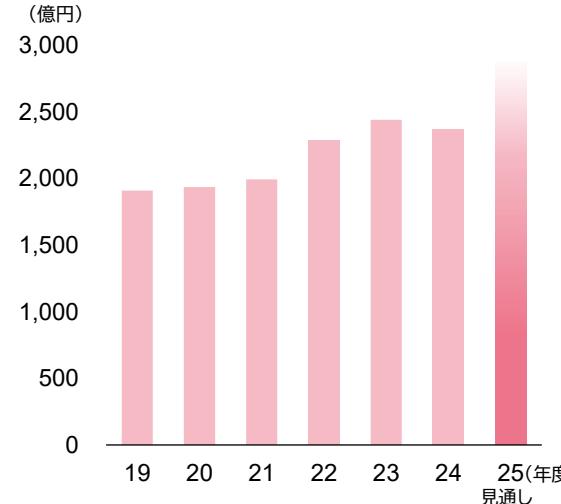
©JAXA

# — 環境・エンジニアリングセグメント

## 2024年度売上収益



## 売上収益推移



## 主な製品・事業



水処理膜



水処理膜装置



プラント・エンジニアリング事業



半導体関連装置



家庭用浄水器

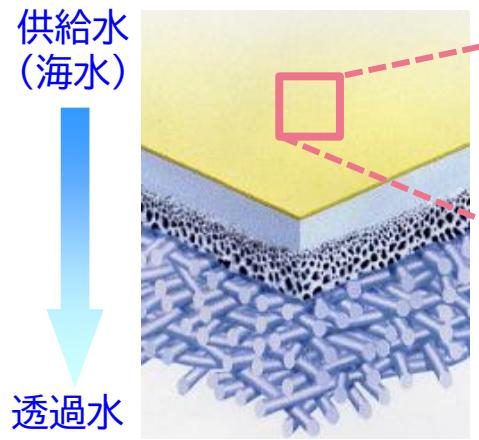


建設・不動産事業

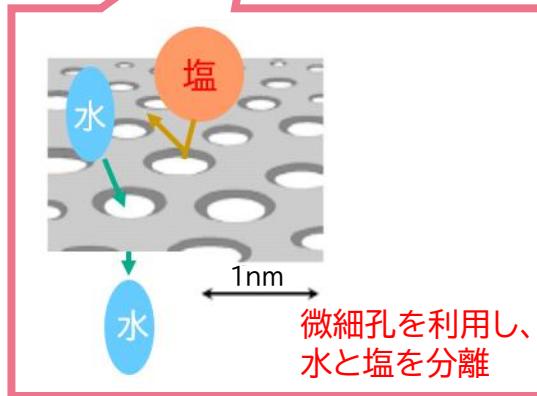
- ・海水淡水化用逆浸透膜等、多くの水処理膜製品を保有
- ・プラント建設、産業機器・システム提供、上下水道施設の設計・施工・監理等エンジニアリング事業を展開
- ・建設・不動産開発事業も展開

# — 水処理膜の製品ラインナップ

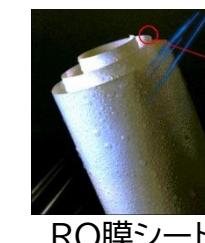
## 分離機能層



RO(逆浸透)膜



微細孔を利用し、  
水と塩を分離



RO膜シート

全てのレンジの膜製品を自社で研究開発 ⇒ 生産 ⇒ 販売 ⇒ 技術サービス

## 幅広い原水に対応

| 大きさ  | 1 nm                      | 10 nm             | 100 nm                       | 1,000 nm                     | 10,000 nm |
|------|---------------------------|-------------------|------------------------------|------------------------------|-----------|
| 分離対象 | イオン・低分子                   | 高分子               | コロイド                         | 粘土                           |           |
|      | トリハロメタン<br>1価イオン          | 農薬・有機物<br>多価イオン   | ウイルス                         | 大腸菌<br>クリプトスporijum<br>バクテリア |           |
| 膜の種類 | RO(逆浸透)                   | NF(ナノろ過)          | UF(限外ろ過)                     | MF(精密ろ過)                     |           |
| 膜製品  | 超純水の製造<br>海水の淡水化<br>廃水再利用 | 硬水の軟水化<br>有害物質の除去 | 飲料水の製造<br>病原性微生物の除去<br>下廃水処理 | 下廃水処理                        |           |
|      |                           |                   |                              |                              |           |
|      | RO/NF膜                    | UF/MF膜            | MBR用膜                        |                              |           |

# 逆浸透(RO)膜事業のグローバル展開

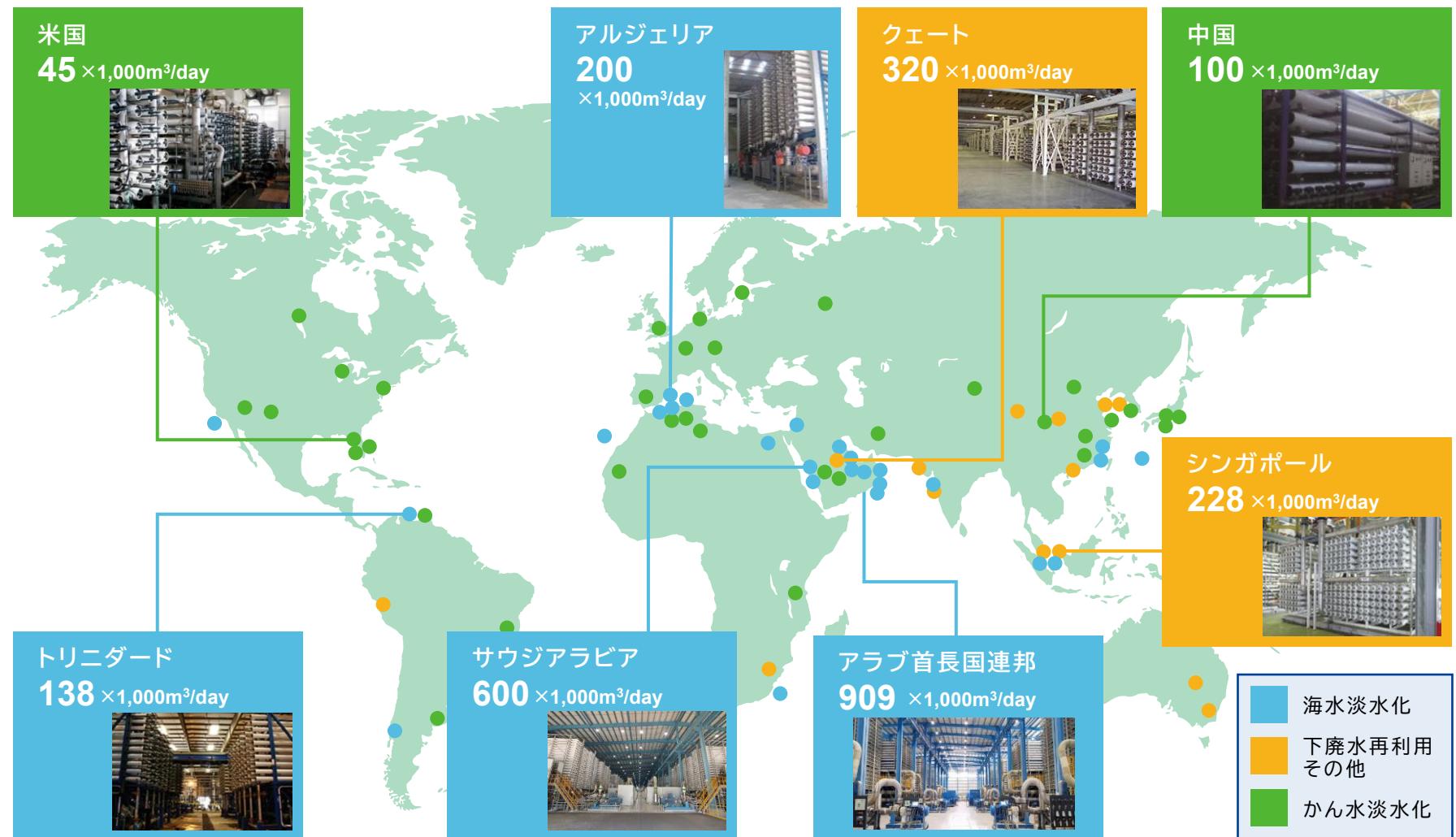
RO膜市場は  
年率5%で成長  
トップシェア

累積水量換算  
**151,500**  
 $\times 1,000\text{m}^3/\text{day}$   
10.6 億人分の生活用水に相当

用途 累積水量換算値  
( $1,000\text{m}^3/\text{day}$ )

|               |               |
|---------------|---------------|
| 海水淡水化         | <b>36,900</b> |
| 下廃水再利用<br>その他 | <b>18,200</b> |
| かん水淡水化        | <b>82,900</b> |
| 超純水           | <b>13,500</b> |

主な受注プラントの例 【2025年3月末現在】

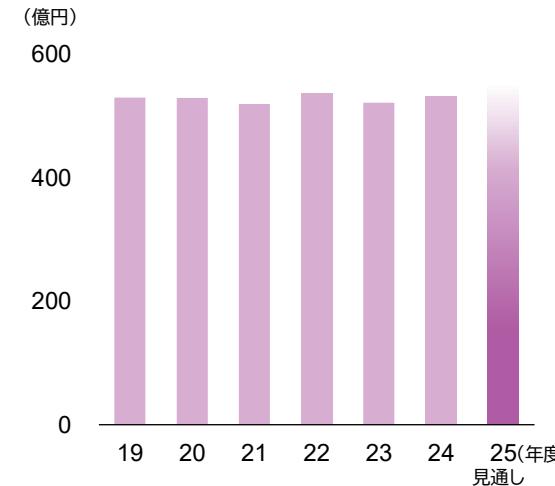


# — ライフサイエンスセグメント

## 2024年度売上収益



## 売上収益推移



- 医薬品・医療機器事業を展開
- 開発中新薬の確実な上市と更なる新薬パイプラインの拡充
- 高付加価値医療用具の開発・上市
- バイオ・ナノテクノロジーの融合による、革新的バイオツールの創出

## 主な製品・事業

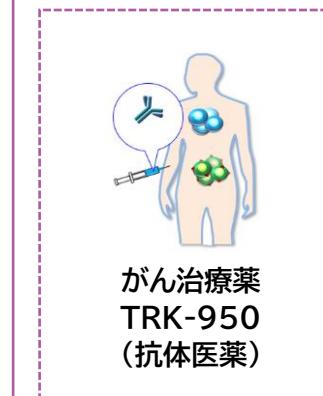
※点線枠内は事業化に向けて開発中

### 医薬事業



経口そう痒症改善薬  
レミッチ®\*

\*レミッチ®は鳥居薬品株式会社の登録商標です。



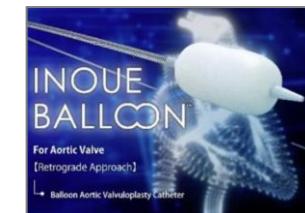
### 医療機器事業



中空糸型透析器  
トレライト®



吸着式血液浄化用  
浄化機器  
トレミキシン®



大動脈弁用  
イノウエ・バルーン

### 新規事業



体外診断用医薬品  
東レAPOA2-iTQ®

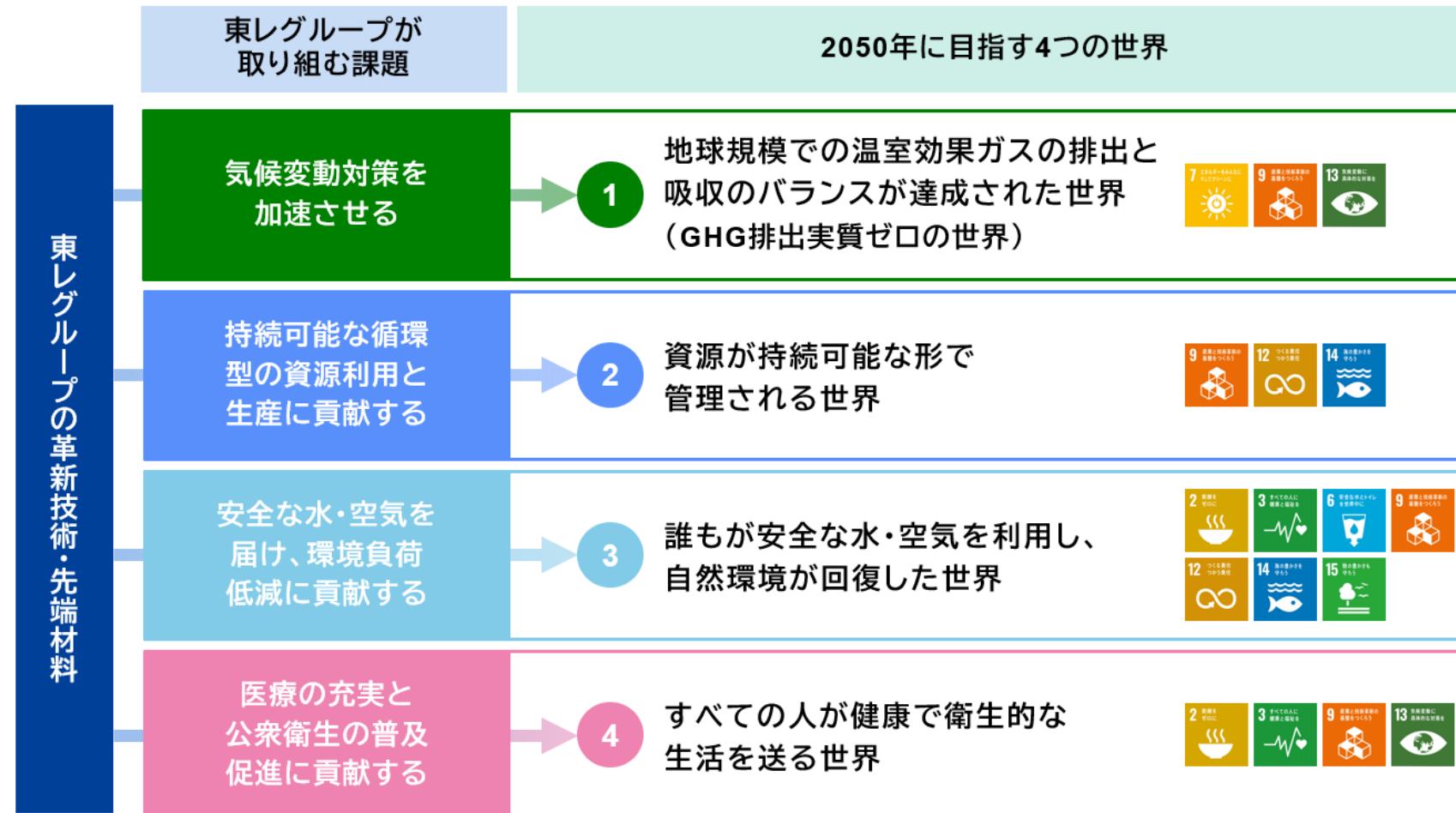
(2024年2月に  
日本国内にて販売を  
開始)

# 3

## 東レグループの中長期戦略

# — 東レグループ サステナビリティ・ビジョン

世界が直面する「発展」と「持続可能性」の両立をめぐる地球規模の課題に対し、革新技術・先端材料の提供により、本質的なソリューションを提供します



# — サステナビリティイノベーション事業による価値創造

## 医療・公衆衛生・安全・健康への貢献

(紙おむつ用不織布)



(医療用フィルタ)



(エアバッグ)



## 安全な水・空気の提供



(水処理膜)



(エアフィルター)

## 資源循環への貢献



(リサイクル原料使用繊維)

24%

2024年度  
売上収益  
1.4兆円

54%

9%

13%

## 気候変動対策の加速

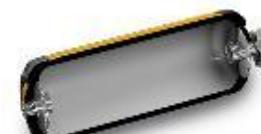
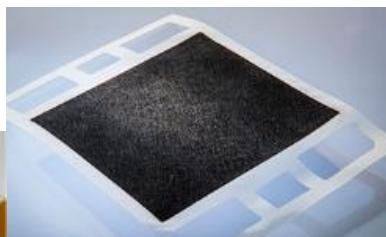


©Boeing



(航空機用炭素繊維)

(風力発電翼用炭素繊維)



©トヨタ自動車株

(水素関連素材)

# — サステナビリティ目標に向けた進捗

相対比はいずれも2013年度比

|                                     | 2013年度実績<br>(基準年度)<br>(日本基準) | 2023年度実績<br>(IFRS) | 2024年度実績<br>(IFRS) | 2025年度目標<br>(IFRS) |
|-------------------------------------|------------------------------|--------------------|--------------------|--------------------|
| サステナビリティイノベーション事業の<br>売上収益※1        | 5,624億円                      | 13,115億円<br>(2.3倍) | 13,689億円<br>(2.4倍) | 16,000億円<br>(2.8倍) |
| バリューチェーンへのCO <sub>2</sub> 削減貢献量※2   | 0.4億トン                       | 10.3倍              | 11.3倍              | 15.0倍              |
| 水処理貢献量※3                            | 2,723万トン／日                   | 2.7倍               | 2.9倍               | 2.9倍               |
| 生産活動によるGHG排出量の<br>売上高・売上収益原単位※4※6※7 | 356トン／億円                     | 36%削減              | 43%削減              | 40%削減              |
| 日本国内のGHG排出量※5※6※7                   | 245万トン                       | 25%削減              | 28%削減              | 20%削減              |
| 生産活動による用水使用量の<br>売上高・売上収益原単位※7      | 14,693トン／億円                  | 35%削減              | 38%削減              | 40%削減              |

※1. ①気候変動対策を加速させる製品、②持続可能な循環型の資源利用と生産に貢献する製品、③安全な水・空気を届け、環境負荷低減に貢献する製品、④医療の充実と公衆衛生の普及促進に貢献する製品

※2. 製品のバリューチェーンを通じたライフサイクル全体でのCO<sub>2</sub>排出量削減効果を、日本化学工業協会およびICCA(国際化学工業協議会)のガイドラインに従い、東レが独自に算出

※3. 水処理膜により新たに創出される年間水処理量。各種水処理膜(RO/UO/MBR)毎の1日当たりの造水可能量に売上本数を乗じて算出

※4. 世界各国における再生可能エネルギー等のゼロエミッション電源比率の上昇に合わせて、2030年度に同等以上のゼロエミッション電源導入を目指す

※5. 地球温暖化対策推進法に基づく日本政府の総合計画(2021年10月22日閣議決定)における産業部門割当(2030年度までに絶対量マイナス38%)以上の削減を目指す

※6. 國際的な算定ルールであるGHGプロトコルに則り、経営支配力を乗じて算出

※7. 2014年度以降に東レグループに加わった会社分を含めて算出

# — 東レグループの価値創造の原動力

強み

- ① 突出した研究・技術開発力、営業力、生産エンジニアリング力
- ② それらを組み合わせることで画期的な新しい素材を社会に提供できるイノベーション力

## 素材を起点とするソリューション提案力

新素材を活用した製品・ソリューションを提案

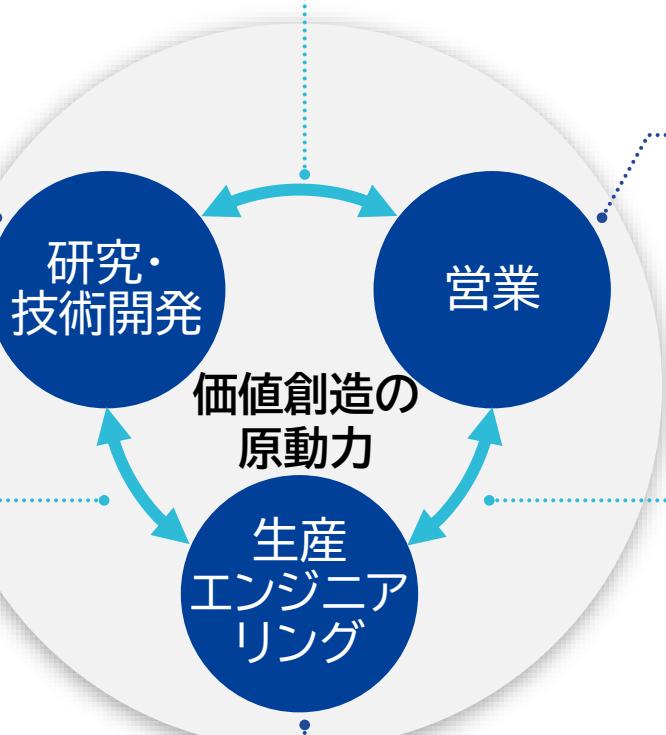
### 「技術融合」「極限追求」による新技術創出力

東レ独自技術を複数もつ (NANODESIGN® (繊維)、軽量炭素繊維、高機能水処理膜 等)



### 最先端素材の量産化実現力

これまでなかった製品の安定均質量産



### 高品質な製品の安定供給力

現場力に基づく徹底した品質管理

### リーディングプレイヤーの発掘・ニーズ理解

新製品・技術の市場浸透に向けたリーディングカンパニーの見極め



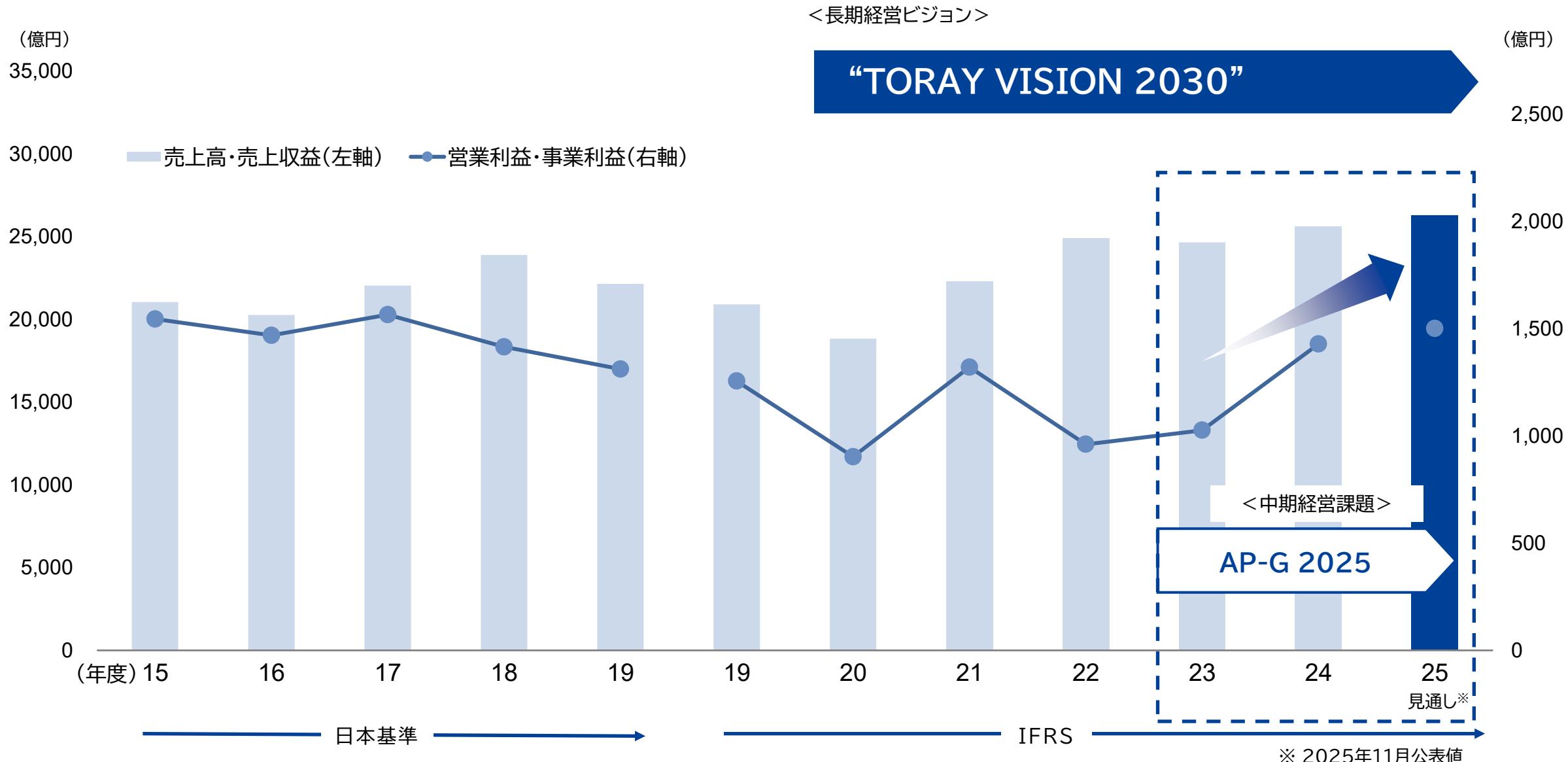
### グローバルなバリューチェーン構築力

グローバル生産拠点構築による安定的な供給力と地政学リスクへの耐性

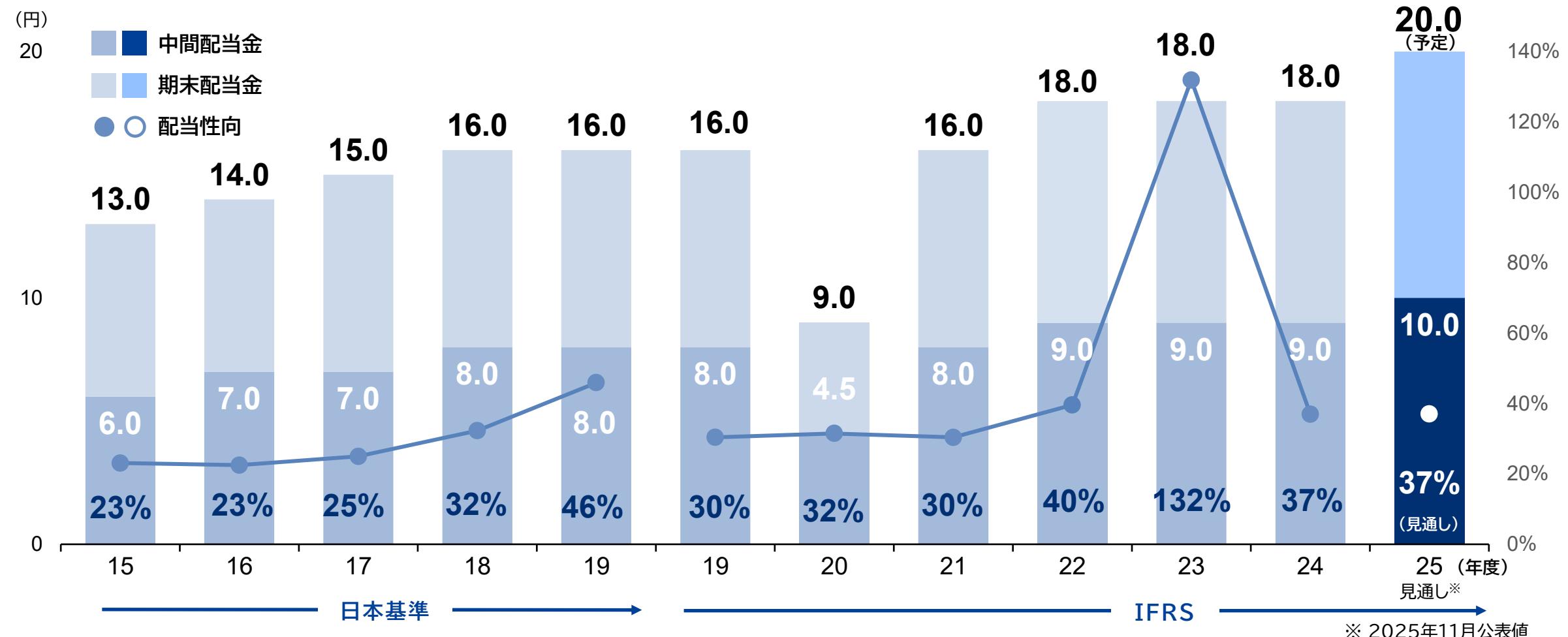
4

## 業績推移

# 売上高・売上収益、営業利益・事業利益の推移



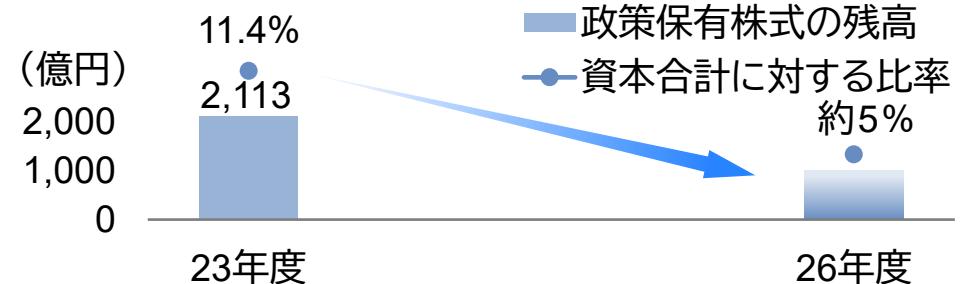
安定的かつ継続的配当の維持を基本として、利益成長による配当額増加を目指し、配当性向は30%以上とします



# — 政策保有株式の縮減と自己株式の取得

## 2024年5月13日公表の政策保有株式縮減方針

- 資本効率の改善を加速するため、政策保有株式を半減する。  
(2024年度～2026年度の3年間で 50%、約1,000億円削減)
- 売却代金は、全額を自己株式取得に充当。



## 政策保有株式の縮減・実行状況

- 2024年度は1,098億円の政策保有株式を売却。  
資本合計に対する比率は5.4%となり、目標を2年前倒しで達成。
- 2025年度以降も追加で売却。

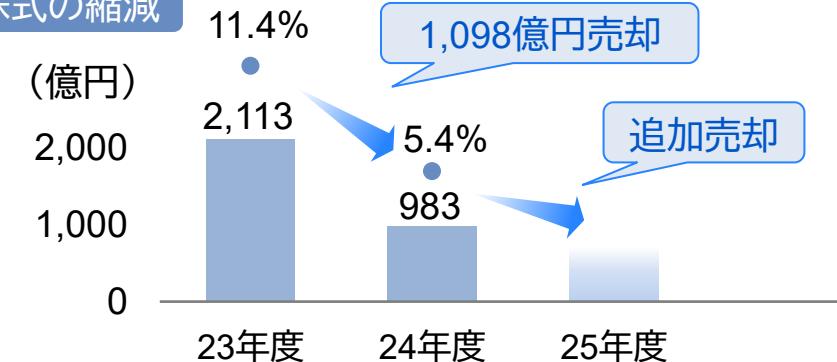
## 自己株式の取得 (2025年11月決定)

- 取得総額:500億円(上限) ■ 取得株数:63百万株(上限)
- 取得期間:2025年11月17日～2026年5月31日

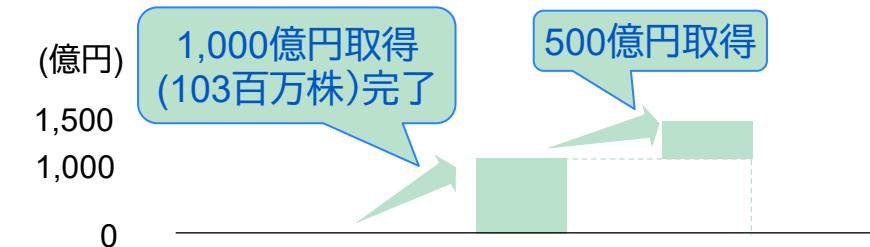
## 自己株式の消却 (2025年11月決定)

- 消却株数:127百万株 ■ 消却日:2025年11月28日

## 政策保有株式の縮減

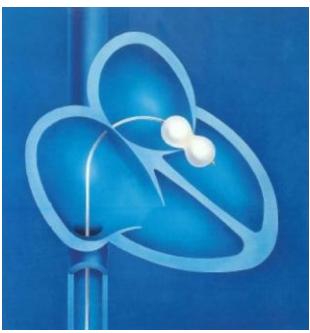
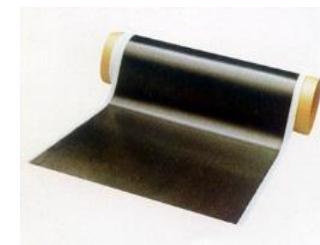


## 自己株式の取得



# わたしたちは新しい価値の創造を通じて社会に貢献します

素材メーカーである東レグループは、成長している分野へ求められるものを  
継続的に創出するにとどまらず、サービスの付加やソリューションを提供することで、  
社会的課題の解決に重要な役割を果たす「真のものづくり」を追求し、社会に貢献する



\*ヒートテック®は株式会社ファーストリテイリングの登録商標です

## — 気候変動に対する東レのソリューション(動画)



# 5

## 参考情報

- 本資料は、東レグループの事業内容等に関する情報の提供を目的とするものであり、当社株式への投資を勧誘するものではありません。
- 本資料に記載した業績予想、見通し及び事業計画等は、資料作成時点において入手可能な情報に基づく東レグループによる仮定及び判断に基づくものであり、その正確性および完全性を保証し、また約束するものではありません。
- 業績予想、見通し及び事業計画等は、今後予告なく変更されることがあります。

## 東レグループに関する情報について

- 東レグループに関する、プレスリリース、製品・サービス、研究・技術開発、CSR、株主・投資家情報、会社情報等については、ウェブサイトをご覧ください。
- 株主・投資家情報のコーナーでは、「個人投資家の皆様へ」というコーナーも設けており、東レグループの経営戦略、事業内容等について、より分かりやすくご説明しています。
- 東レグループウェブサイト: 

## IR配信サービスのご紹介

- 「株主・投資家情報」→「IRメール」からメールアドレスをご登録ください。

### アイコンのご説明

-  をクリックいただくと、関連するホームページに遷移します
-  をクリックいただくと、関連する動画を視聴いただけます

企業情報 サステナビリティ 製品・サービス 研究・技術開発 株主・投資家情報(IR) 採用情報 ニュースルーム

HOME > 株主・投資家情報(IR)

株主・投資家情報(IR)



› 社長メッセージ



› 統合報告書



› 財務・業績



› 長期経営ビジョン、中期経営課題、  
経営説明会、事業説明会資料

### 説明会資料

2026年3月期 第2四半期決算

-  決算発表説明資料 (2.1MB)
-  決算短信 (283KB)
-  スライド付き動画

### IRイベント

› イベント・スケジュール



# — 個人株主様向け事業説明会

- ・株主様に事業説明会をご案内し、多数のご応募の中から抽選で125名の株主様にご参加頂きました。
- ・当社IR担当役員による事業説明、企業文化フロア(展示・歴史コーナー)見学の後、研開企画部CR企画室長による研究・技術紹介をお聞き頂き、貴重なご意見・ご質問を頂戴しました。

## 東レ総合研修センター(静岡県三島市)での事業説明会(2025年10月3日・4日開催)



# — 第2四半期決算サマリー —

## 連結業績

- 1 第2四半期累計の事業利益は679億円と前年同期比減益だが期初見通しを上回った
- 2 通期事業利益見通しは前期比増益の1,500億円を計画（期初見通しを据え置き）

|             | 2026年3月期 第2四半期累計<br>事業利益 |       | 2026年3月期 通期<br>事業利益 |     |
|-------------|--------------------------|-------|---------------------|-----|
|             | 実績                       | 前年同期比 | 今回見通し               | 前期比 |
| 繊維          | 350                      | +6    | 715                 | +73 |
| 機能化成品       | 288                      | -52   | 610                 | +10 |
| 炭素繊維複合材料    | 94                       | -23   | 230                 | +5  |
| 環境・エンジニアリング | 98                       | -20   | 290                 | +31 |
| ライフサイエンス    | ▲ 11                     | -5    | 0                   | +8  |
| その他         | ▲ 8                      | -14   | 15                  | -9  |
| 調整額         | ▲ 133                    | -5    | ▲ 360               | -45 |
| 合計          | 679                      | -113  | 1,500               | +72 |
| 期初見通し*1比    | +29                      |       | ±0                  |     |

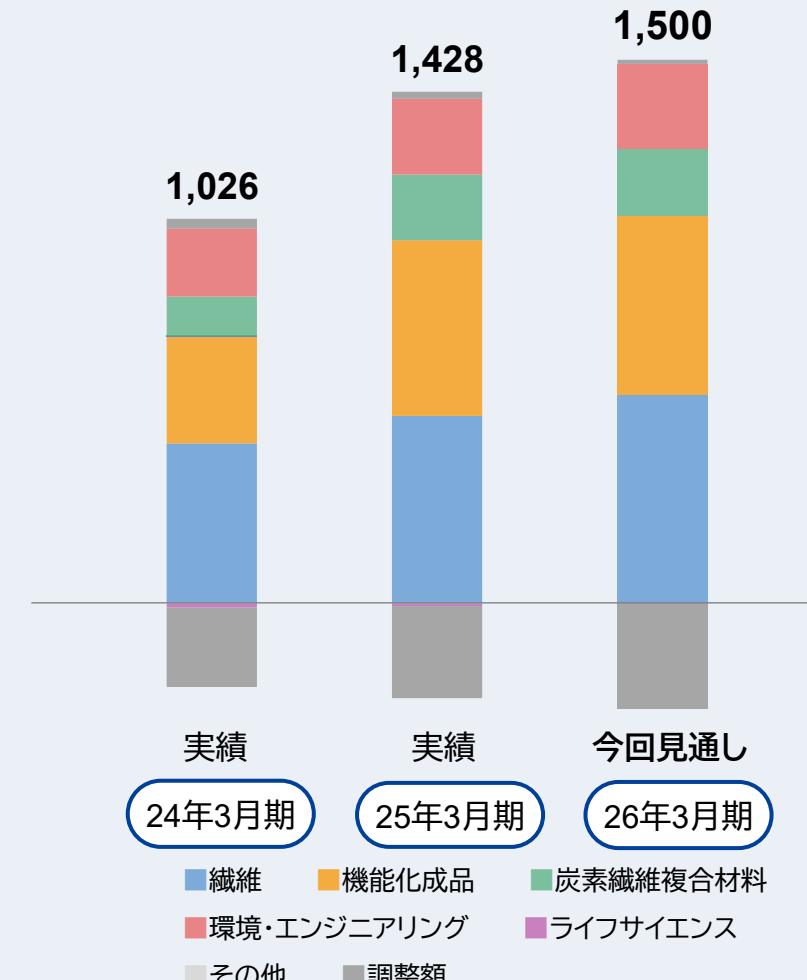
\*1:期初見通し:2025年5月14日公表値

## 株主還元

- 1 2024年11月の自己株式取得決議(取得価額総額の上限:1,000億円)に基づき、2025年10月までに1,000億円(103百万株)の自己株式の取得を完了。
- 2 2025年11月の取締役会にて新たに自己株式取得を決議(取得価額総額の上限:500億円)

## 事業利益推移

(億円)



# — 2025年度 連結業績見通し(2025年11月14日公表内容)

## 業績見通しの前提

世界経済は、緩やかな回復局面が続くと見込まれる。トランプ関税影響の不確実性は依然として高いものの、世界景気への影響は限定的なものにとどまると想定している。国内経済も、緩やかに回復が続くとみている。ただし、今後の米国の通商政策の動向および各国の対応、地政学的緊張と一次產品価格の上昇、中国経済の低迷が、足元の経済動向を左右するとともに、中長期的にはサプライチェーンや貿易構造の変化に大きく影響する可能性がある。

|                                    |    | 25年3月期実績 | 26年3月期見通し | 増減                               |           |
|------------------------------------|----|----------|-----------|----------------------------------|-----------|
| 売 上 収 益                            | 上期 | 12,941   | 12,343    | -598                             | (-4.6%)   |
|                                    | 下期 | 12,692   | 13,957    | +1,265                           | (+10.0%)  |
|                                    | 通期 | 25,633   | 26,300    | +667                             | (+2.6%)   |
| 事 業 利 益                            | 上期 | 791      | 679       | -113                             | (-14.2%)  |
|                                    | 下期 | 636      | 821       | +185                             | (+29.1%)  |
|                                    | 通期 | 1,428    | 1,500     | +72                              | (+5.1%)   |
| 親 会 社 の 所 有 者 に<br>帰 属 す る 当 期 利 益 | 上期 | 555      | 369       | -186                             | (-33.5%)  |
|                                    | 下期 | 224      | 451       | +227                             | (+101.3%) |
|                                    | 通期 | 779      | 820       | +41                              | (+5.2%)   |
| 基 本 的 1 株 当 た り<br>当 期 利 益         | 上期 | 34.66 円  | 24.23 円   | 為替レートの前提<br>(10月以降)<br>145円／US\$ |           |
|                                    | 下期 | 14.15 円  | 29.97 円   |                                  |           |
|                                    | 通期 | 48.93 円  | 54.16 円   |                                  |           |
| 1 株 当 た り 配 当 金                    | 上期 | 9.00 円   | 10.00 円   |                                  |           |
|                                    | 下期 | 9.00 円   | 10.00 円   |                                  |           |
|                                    | 通期 | 18.00 円  | 20.00 円   |                                  |           |
| 配 当 性 向                            | 通期 | 37%      | 37%       |                                  |           |

# — セグメント別連結業績見通し(2025年11月14日公表内容)

繊維、環境・エンジニアリングセグメントを中心に各セグメントでの販売拡大等のほか、戦略的プライシングと収益改善プロジェクトの効果発現により前期比増収増益の見通し。

|       |             | 25年3月期実績 |        |        | 26年3月期見通し |        |        | 増減    |        |       |
|-------|-------------|----------|--------|--------|-----------|--------|--------|-------|--------|-------|
|       |             | 上期       | 下期     | 通期     | 上期        | 下期     | 通期     | 上期    | 下期     | 通期    |
| 売上収益  | 繊維          | 5,155    | 4,956  | 10,111 | 5,040     | 5,320  | 10,360 | -115  | +364   | +249  |
|       | 機能化成品       | 4,775    | 4,673  | 9,449  | 4,433     | 4,727  | 9,160  | -342  | +54    | -289  |
|       | 炭素繊維複合材料    | 1,528    | 1,472  | 3,000  | 1,354     | 1,736  | 3,090  | -174  | +264   | +90   |
|       | 環境・エンジニアリング | 1,145    | 1,220  | 2,365  | 1,170     | 1,770  | 2,940  | +25   | +550   | +575  |
|       | ライフサイエンス    | 256      | 276    | 532    | 251       | 299    | 550    | -5    | +24    | +18   |
|       | その他         | 82       | 94     | 177    | 96        | 104    | 200    | +14   | +10    | +23   |
|       | 合計          | 12,941   | 12,692 | 25,633 | 12,343    | 13,957 | 26,300 | -598  | +1,265 | +667  |
| 事業利益  | 繊維          | 344      | 297    | 642    | 350       | 365    | 715    | +6    | +67    | +73   |
|       | 機能化成品       | 340      | 260    | 600    | 288       | 322    | 610    | -52   | +62    | +10   |
|       | 炭素繊維複合材料    | 117      | 108    | 225    | 94        | 136    | 230    | -23   | +28    | +5    |
|       | 環境・エンジニアリング | 118      | 141    | 259    | 98        | 192    | 290    | -20   | +51    | +31   |
|       | ライフサイエンス    | ▲ 6      | ▲ 2    | ▲ 8    | ▲ 11      | 11     | 0      | -5    | +13    | +8    |
|       | その他         | 6        | 18     | 24     | ▲ 8       | 23     | 15     | -14   | +4     | -9    |
|       | 調整額         | ▲ 128    | ▲ 187  | ▲ 315  | ▲ 133     | ▲ 227  | ▲ 360  | -5    | -40    | -45   |
|       | 合計          | 791      | 636    | 1,428  | 679       | 821    | 1,500  | -113  | +185   | +72   |
| 事業利益率 |             | 6.1%     | 5.0%   | 5.6%   | 5.5%      | 5.9%   | 5.7%   | -0.6p | +0.9p  | +0.1p |

本資料中の業績見通し及び事業計画についての  
記述は、現時点における将来の経済環境予想等の  
仮定に基づいています。

本資料において当社の将来の業績を保証するもの  
ではありません。

**‘TORAY’**

**Innovation by Chemistry**